

自己評価の解説

令和元年度 なおいりこども園

分類	小 分 類	評価の根拠
保育理念	本園の保育理念を理解し、主旨を説明することができる	本園「教育及び保育の内容に関する全体的な計画」等を通して確認している。
	本園の教育・保育目標と方針を理解している	
	保護者に対して、園の目標や方針が知らされている（重要事項説明書に記されている）	
教育・保育計画	保育計画を作成し（知り）、見通しをもった保育を実践している	幼保連携型認定こども園法教育・保育要領に基づき、年間計画・月案・週案・日案を作成している。
	年間計画、年間行事の見直しをしている（意見を出し合っている）	
	職員間で協力しながら、保育計画を立てることができている	
	育みたい資質・能力の3本の柱及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の10項目を理解している	
保育活動	子どもがのびのびと意見や意思が表現できるような保育を行っている	年齢に見合った子ども同士の関係をよくするような言葉がけをしている。子どもを否定するような言葉がけをせず、子どもの意思を尊重する。
	遊びや生活を通して、人間関係が育つような配慮をしている	ケンカの場面では状況を適切にとらえ、双方の想いを聞き、丁寧に対応をしてやる。
	遊びを通して、友だちや保育者との関わりが十分持てるよう配慮している	保育者自身が一緒に身体を動かしながら、楽しんで保育をしている。
	身近な自然や社会と関われるような環境設定を行っている	お散歩などで出会った地域の方々への挨拶ができる様促している。わくわく農園での栽培や収穫体験ができています。
	遊びに入れない子どもや、全体の様子に配慮した保育を行っている	一人ひとりの子どもに気を配り、丁寧に関わる様になっている。「…しなさい」「いけません」といった制止の言葉を用いない保育を心掛けている。
	保護者や地域等に、園行事や保育内容などが知らされている	クラスだより等情報発信に心がけている。また、HPなど自園が発信している情報を把握している。
保育者としての資質・能力・良識・適正	締切りのある仕事や提出物は、締切日を守っている	組織の一員である事への自覚と、自らの業務責任を理解している。
	担当クラスはもちろん、気づいた時には園内外の整理整頓や節電・エコ活動につながる気遣いを実行している	職員同士の連携の大切さや、率先垂範を実践している。
	教職員全員で、ひとつのチームであることを意識している	気遣い・心遣いをもって職務に向かっている。
	会議や研修の時は、自分の意見や質問を前もって考えている	「誰かがする」意識ではなく「私がやる」向上心を持っている。
	自らの健康にも配慮し、爪が伸びていないかどうか等、保育をする上での安全性にも気を付けている	自らの健康管理に留意しながら、子ども達の健康と安全管理に配慮している。
	異年齢の子どもたちが、自然に交流できるような環境づくりをした中で、その体格差等による危険予知を考え保育している	集団の中で自らの立ち位置や、他の職員の配置に配慮し互いに連携がとれる体制づくりに心掛けている。
	怪我や事故には特に気を付け、年齢に応じた適切な環境構成や言葉かけを行っている	環境構成による危険の予知と、声掛けを心掛けている。
	子ども達が自ら活動を生み出していけるような素材や、活動を展開できる空間構成になるよう配慮している	活動のめあてに見合った保育材料や構成を考え、子どもの手の届く配置をした事前準備を行っている。
	季節の変化を感じることで、こども目線に配慮した環境構成など、保育者同士で意見を交換している	季節ごとに体感できる活動を考え、内容を保育者間で共有し実践している。
	園内に危険な個所がないか、危険な遊び方はしていないか、活動が年齢や能力に対して危険でないかなどを常に気にかけて保育をしている	成長年齢に応じた遊具の必要性と、遊び方により危険性がある遊具などの活用方法を理解している。
プライベート時でも、法人職員としての自覚を持っている	「先生」と呼ばれる職業意識と、社会人としてのモラルを意識している。	

人権	子どもの人権が尊重され、大切にされていると感じる	子どもの思いを大切にし、子どもが理解しやすい言葉で伝えている。また、自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちを汲み取るよう努力している。
	児童虐待について観察できる対応をとっている	子どもの健康状態やしぐさに注意を払い、保護者対応では家庭での様子などを情報交換できる関係づくりと、気になる子の様子は職員間で情報共有をしている。
個人情報保護	業務上で知り得た子どもの情報に関する守秘義務について遵守している	職員自身が守秘義務の法的重要性を認知し、子どもや家庭等に関する重要書類については鍵付き書庫に保管・管理している。職員会議や朝礼等で知り得た情報や保護者対応などで知り得た個人情報も守秘義務であること。
	保護者からの相談内容の守秘義務について全職員で共有している	
	退職後でも、知り得た情報を漏らしてはならない守秘義務があることを知っている	
保護者支援	登園時の健康状態等及び降園時の保護者へ伝えるべき事柄について、担任以外の職員が当たる場合の連携がとれている	職員間の情報共有とコミュニケーションがとれている。
	保護者に対し、子どもの事や自分の保育の事を分かりやすく話すことができ、保護者との信頼関係作りに努めている	保護者の言葉に寄り添い、その思いを理解するよう努め、丁寧に対応するよう心掛けている。保護者と子どもに笑顔で挨拶をし、気持ちの良い対応がとれている。
	子どもの具体的な行動や言葉を伝えることができ、家庭との連携がとれている	
	個々の子どもの様子については自分の考えをきちんと話すと共に、保護者の話を心を開いて、よく聞くようにしている	
	保護者の要望などがある場合は、内容により直ぐに返答をすることなく保育者同士や上司に相談し問題解決にあたっている	「報・連・相」を実践している。
	保育中に子どもに体調変化があった場合、職員間で連携を取り上司に報告し、状況に応じて保護者に連絡を取るなど、保護者との連携がとれている	
保護者の子育て相談などに対して、保育者としての知識と経験で支援ができている	保護者の態度を察知し相談があれば、その気持ちに寄り添うようにしている。また、状況により保育コーディネーターや保健師への相談などを勧めることを考えることが出来ている。	
研修と研究	自分なりの幼児観・保育観の成長のための研修や研究を行っている	キャリアアップ研修 フォローアップ研修等、各種研修への参加。
	アレルギーや感染症について理解している	
	障がいのある子どもや、支援が必要な子どもなどの保育の在り方について研修・学習している	
	発達障がいや、支援が必要な児童についての知識を活用している	
	保護者支援や子育て支援、地域貢献など認定こども園に課せられた支援について研修・学習している	
	幼稚園型預かり保育や一時預かり保育などについての制度と在り方・考え方について理解している	園内研修等で周知。